

こんにちは。

南オーストラリア州では、新型コロナウイルスが落ち着き、5月13日から通常登校が始まりました。それまでは、登校するか自宅でオンライン学習をするか自分で選択することができたので、私は家でオンライン授業を受けていました。久しぶりの登校で、1か月以上会っていなかった友達に会うことができ、とても嬉しかったです。現在、学校で通常通り授業を受けられていたり、休み時間に友達と芝生の上で集まったりと、今までのように生活できていることをとても幸せに感じます。

5月のアデレードはとても寒いです。季節はまだ秋ですが、気温が40度近くあった夏から比べるとだいぶ気温が下がり、毎朝なかなか布団から出られません。また、この時期は雨が多く、先日は雹が降りました。雨が降る日は空気が冷えるため、自然と家の中も冷え、暖房が欠かせなくなります。オーストラリアには靴を脱ぐ習慣がなく、床暖房がありません。私はオーストラリアに来て、今まで当たり前感じていた床暖房が、いかに家を暖かくするために役立つのかを実感しました。アデレードは、真冬でも気温が0度を下回ることはほとんどないそうですが、体感温度はかなり寒いので、いろいろ工夫して、最大限に暖かく過ごしたいと思います。

アデレードでの留学生活を始めて、4か月が経ちました。自分ではなかなか成長を感じるのが難しいですが、ウッドビル高校に通い始めたばかりのころの自分と比べると、リスニング力が伸びたように感じます。先生の授業も生徒同士の会話もほとんど聞き取れず、自分の英語力の低さに悲しくなったり、日本語が恋しくなったりしましたが、毎日英語に触れたことで、友達との会話を以前よりも楽しむことができるようになりました。スピーキング力はまだまだですが、壁にぶつかりながらもここまで成長できた自分を少しだけ褒めたいです。

10か月の留学生活の4割がすでに終わってしまったと思うと寂しいです。しかし毎日楽しく過ごせたからこそ、こんなにもあつという間に感じているのだと思います。渡航前は、家族や友達がいる日本から離れて、母国語である日本語が通じない未知の場所に行くことに不安を感じていましたが、この4か月で、私を家族の一員として受け入れてくれる素敵なホストファミリーと出会い、英語でのコミュニケーションに慣れない私にたくさん話しかけてくれる優しい友達ができました。決して簡単な道のりではなかったけれど、間違いなく充実した日々だったと思います。

次に報告書を書くのは、6月末、つまりこの留学生活の折り返し地点です。たくさんの思い出と学びを得られるように、一日一日を大切にします。

白鷗高校 12期生 次世代リーダー 8期生 S・K